

女性経営者集いファッションショー

女性経営者による女性経営者のためのファッションショーが開かれた。モデルも女性経営者が務め、ステージ上を音楽に合わせながらモデル独特のウォーキングでさっそうと歩いた。

主催したのは、女性経営者を支援するNATULUCK。菅原智美社長＝写真＝は「女性経営者が活躍する社会をつくりたい。そのためには、出会いと学び、交流による成長が不可欠で、その場を提供したかった」と素人によるファッションショー開催の理由を説明した。男性経営者も含めた100人を超える来場者は、交流会で名刺交換するなど、互いのビジネスの接点を探す姿が見られた。

モデルを務めたのは、同社が運営す

る「女性経営者 エメラルド倶楽部」の会員。アズママの甲田恵子社長は「普段から『人に見られる』ことを意識した歩き方や立ち振る舞いを改めて考える好機になった」とモデル初体験を振り返った。日本リ・ファッション協会の鈴木純子代表理事は「志ある女性経営者は、新しい試みにも自己責任、自己完結で上手に楽しみ、たくま



しく日本を支えているのだと実感した」と語った。こうした声を聞いた菅原社長は「ファッションショーを通じて女性経営者のプロモーションと交流が図れたと思う」と満足していた。

今回のファッションショーはチャリティーの一面ももつ。菅原社長は昨年、カンボジアを視察し、同国の子供たちの貧しい中でも豊かな心に感動。今回の収益の一部を、フォーバルの大久保秀夫会長兼社長が理事を務めるCIESF（カンボジア国際教育支援基金）を通し、同国の教育基金として寄付する。